

平成29年度 第2回学校評価集計分析結果

1 実施期間 平成29年12月中旬～平成30年1月上旬

2 対 象

| | | |
|-------------|-------------|--------|
| 生徒（1・2年） | 567名中565名提出 | 99.6% |
| 保護者（1・2年） | 561名中529名提出 | 94.3% |
| 学校評議員・地域関係者 | 9名全員提出 | 100.0% |
| 教職員 | 53名全員提出 | 100.0% |

3 分析内容

(1) 学校生活について

本校に対する満足度を表すア・イの質問項目については、生徒が約8割、保護者が約9割と、それぞれ肯定的な回答をいただき、昨年度とほぼ同じ割合となりました。生徒に尋ねた「この1年間充実した学校生活を送ってきたと思いますか」という質問に対しても、89%の生徒から肯定的な回答があり、概ね満足感を持ちつつ学校生活を送っている様子がうかがえます。学校評議員や地域関係者の方々からは、「メディアで取り上げられているニュースが良いものばかりでした」「近隣の高校なので応援しています」「志高（四高）の進路指導が進学指導だけではなく、一人ひとりの生徒に生き方在り方につながっていくよう更なる充実を期待します」といった回答が寄せられました。今後も、生徒・保護者、そして地域の方々の期待に応えられるよう、魅力ある学校づくりに取り組みたいと考えています。

※数値は肯定的評価「全くそう思う」と「そう思う」の合計の%である。（ ）は昨年同期。

| 質 問 項 目 | 生 徒 | 保 護 者 | 教 職 員 |
|--------------------------|--------|--------|--------|
| ア 本校は魅力ある学校だと思いますか | 83(86) | 92(91) | 98(92) |
| イ 本校に入学して(させて)よかったと思いますか | 83(87) | 92(90) | / |

(2) 学習指導について

質問項目ウの授業の工夫や改善について、生徒の数値が、昨年度に比べ5ポイント、第1回に比べ3ポイント減少しており、教員の取り組みに対する評価が若干下がっています。また、エの項目でも、教職員と生徒との間に意識の差がみられました。アクティブ・ラーニングなどの導入に向けて試行錯誤しながら授業改善に取り組んでいるところですが、今後は、生徒自身が、学力が身につけている実感を得られるよう、教員の授業スタイルを改善し、授業の充実を図っていきたいものと考えております。また、家庭学習の取り組みに対して「(自学できるよう)課題の解答を配付」「適切な課題の量」などの生徒・保護者の声を真摯に受け止めて検討するとともに、生徒それぞれの能力に応じた学習指導の在り方についても検討が必要であると考えています。

| 質 問 項 目 | 生 徒 | 保 護 者 | 教 職 員 |
|----------------------------|--------|--------|--------|
| ウ 授業に工夫や改善がみられますか。(していますか) | 73(78) | / | 96(98) |
| エ 授業により十分な学力を身につけていますか。 | 65(67) | 46(47) | 84(92) |
| オ 課題プリントや週末課題は適切ですか。 | 75(72) | / | 94(88) |

(3) 生活・部活動指導について

自転車の運転マナーについては、今年度も保護者・近隣住民の方々から厳しいご指摘をいただきました。とりわけ今年度は、自転車と自動車との接触事故が多く発生したことから、

次年度に向けて更なる啓発を図りたいものと考えております。また、学校評議員や地域関係者の方々からも、自転車の並走や無灯火、歩きスマホなどについての指摘を受けております。交通マナーの向上については、「自分の命は自分で守る」との観点からも、一層の取り組みの強化が必要であると認識しているところです。カの「トラブル（いじめ含む）への対応」については、本年度新しい項目として尋ねたところ、生徒・保護者ともに、肯定的に評価いただきました。いじめ事案の早期把握につなげる意味でも、引き続き生徒や保護者が相談しやすい体制をつくって参ります。クの項目については、いずれの立場の回答も数字が低いという結果となりました。自由記述において、生徒・保護者から「部活動の週1回の休みの徹底を」という意見もあり、学習と部活動が両立できる学校体制をめざして参ります。

| 質 問 項 目 | 生 徒 | 保 護 者 | 教 職 員 |
|-----------------------------------|--------|--------|--------|
| カ 学校は、生徒のトラブル（いじめ含む）に適切に対応していますか。 | 87(*) | 85(*) | 96(*) |
| キ 先生は悩みを聞くなど、相談にのってくれますか。（いますか） | 85(83) | 79(75) | 88(84) |
| ク 学習と部活動を両立させていますか。 | 59(54) | 58(57) | 55(43) |

(4)進路指導について

ケの項目では、生徒の数値が、約9割となっており、生徒と教員が進路実現という同一の目標を共有し、取り組んでいることのあらわれと考えています。また、コの項目については、数値的に高まりを見せてはいますが、保護者から更なる適切な情報発信をという意見が見られました。サの課外授業のあり方については、生徒から課外の目的や実施時期・方法などに対する意見がありました。適切な情報発信と課外の在り方については、今後、進路指導課や学年を中心に検討が必要であると考えています。

| 質 問 項 目 | 生 徒 | 保 護 者 | 教 職 員 |
|-------------------------------|--------|--------|--------|
| ケ 進路指導は適切に行われていると思いますか。 | 89(91) | 82(82) | 83(82) |
| コ 進路に関する情報は生徒(保護者)に提供されていますか。 | 85(88) | 70(67) | 90(86) |
| サ 本校の課外授業は適切に実施されていますか。 | 53(68) | 84(85) | 73(76) |

(5)その他

今回の調査対象が生徒・保護者ともに1・2年生ということもあり、部活動に対して「顧問の指導方法」「施設設備への要望」「学習との両立への配慮」といった内容の記述が目立ちました。また、アンケートの回答項目において、「わからない」という項目もつけてほしいといった意見もありました。回答項目については、次回以降のアンケートにおいて検討したいと考えております。一方で、保護者から「メール配信による連絡が助かります」など、教職員の取り組みを評価する声も寄せられました。

4 終わりに

今年度2回目の学校評価を見ると、昨年度、あるいは第1回に比べると肯定的な評価をいただいた項目があるものの、「学習と部活動の両立」「十分な学力保障」「授業改善」など、改善の余地が見られる項目がありました。今回の学校評価は、次年度の計画に生かしたいと考えております。引き続き、何かありましたら学校へ連絡いただければと考えております。